

第 2 期秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の達成状況について

1 「第 2 期秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」概要

(1) 計画期間

令和 3 年度～令和 7 年度

(2) 策定趣旨

人口減少と少子高齢化が進行する中、次の世代に引き継ぐことができる「元気な秋田市」の実現を目指し、秋田市人口ビジョン（令和 3 年 3 月改訂）に掲げる将来の目指すべき姿の実現に向けた施策を推進するもの。

(3) 人口ビジョンとの関係

秋田市人口ビジョン（令和 3 年 3 月改訂）では、子育て環境の充実や質の高い雇用の創出、移住促進などに取り組むことで 2040 年の目指すべき将来人口を約 26 万人とし、その実現手段として、以下の基本目標と横断的視点を掲げている。

【基本目標】

- ① 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ② 魅力的で安定したしごとの場をつくる
- ③ 多様なつながりを築き、秋田市への新しいひとの流れをつくる
- ④ 高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりを進める
- ⑤ 持続可能な魅力ある地域をつくり、安全安心な暮らしを守る

【横断的視点】

・新しい時代の流れを力にする
・多様な人材の活躍を推進する

2 人口動態の現状（計画期間）

令和 7 年の総人口は 291,745 人となった。計画期間中は、コロナ禍において一時的に社会増となったものの、このところは社会減が拡大しているほか、自然減の影響も大きい状態が続いている。

（単位：人、％）

	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
総人口	305,062	302,394	299,230	295,598	291,745
前年差	▲ 2,216	▲ 2,668	▲ 3,164	▲ 3,632	▲ 3,853
前年比	▲0.7%	▲0.9%	▲1.0%	▲1.2%	▲1.3%
社会動態	27	▲ 10	▲ 239	▲ 558	▲ 804
自然動態	▲ 2,243	▲ 2,658	▲ 2,925	▲ 3,074	▲ 3,049

※各年12月31日時点

3 効果検証の目的

内閣府において、数値目標等の PDCA サイクルを確立する観点から、外部有識者等参画による効果検証を推奨しているため、本市では毎年度検証委員会を開催し、各基本目標や KPI の進捗状況確認や事業の効果検証、課題整理等を行っている。

評価基準は、以下の 4 段階としている。

S：令和 7 年度目標の水準を上回っている A：策定時を上回っている
B：策定時から横ばい C：策定時を下回っている

4 数値目標・各 KPI の達成状況（令和 7 年度末）

(1) 全体の達成状況

5 つの数値目標では、S 評価が 1 件、C 評価が 4 件となった。また、数値目標に係る 30 指標（KPI）のうち、S 評価 13 件、A 評価 9 件、C 評価 8 件となった。

基本 目標	数値目標					指標 数	S		A		B		C	
		実績	目標	評価	前年		達成	前年	改善	前年	横ばい	前年	悪化	前年
①	合計特殊出生率	1.02	1.63	C	C	5	3	3	1	1	0	0	1	1
②	市の施策による 就業機会確保数	5,490人	5,170人	S	A	7	4	4	1	1	0	0	2	2
③	市外への転出超 過の改善	-804人	-205人	C	C	6	2	1	2	2	0	0	2	3
④	要介護認定を受 けていない高齢 者の割合	85.0%	85.4%	C	C	7	2	2	4	3	0	0	1	2
⑤	本市に住み続け たい人の割合	73.1%	80.0%	C	C	5	2	2	1	1	0	0	2	2
合計						30	13	12	9	8	0	0	8	10

(2) 目標を達成した指標

前年度と比較すると、佐竹史料館リニューアルオープンの効果により「文化施設の観覧者数」が新たに「S」評価となった。

基本 目標	指標（KPI） ★：総合戦略独自指標	実績	目標	評価	
		R7年度	R7年度	今回	前回
①	ネウボラでの妊婦初回面接率★	96.9%	77.7%	S	S
	年度末における保育所等の待機児童数	0人	16人	S	S
	絆が大切だと思う人の割合	100.0%	90.0%	S	S
②	アンダー 40 正社員化促進事業における正規雇用転換者数の累計	2,265人	2,000人	S	S
	農業法人数	79経営体	70経営体	S	S
	新規就農者数	121人	80人	S	S
	市の補助事業を活用して先端技術を導入した農林漁業者数★	76事業者	50事業者	S	S
③	秋田市ふるさと応援寄附金件数	159,118件	24,000件	S	S
	文化施設の観覧者数	257,953人	229,072人	S	C
④	エイジフレンドリーパートナー数★	167者	160者	S	S
	秋田市バリアフリーマスタープランの策定★	策定	策定	S	S
⑤	市民交流サロンの講座参加者数	532人	473人	S	S
	住宅用太陽光発電システム設置延べ件数	4,025件	3,500件	S	S

(3) 目標未達成となった指標

前年度と比較すると、「秋田市シルバー人材センターの会員数」は新たに「A」評価となり改善した。その他の指標については、前年度と同様の評価となった。

基本 目標	指標（KPI） ★：総合戦略独自指標	実績 R7年度	目標 R7年度	評価	
				今回	前回
①	あきた結婚支援センター登録会員における婚姻数（市民）	36人	58人	C	C
	市の審議会、委員会などへの女性参画率	33.5%	50.0%	A	A
②	市内大学卒業者の市内就職率	21.2%	33.3%	C	C
	開業率	3.1%	4.7%	C	C
	市の補助事業を活用して先端技術を導入した商工業・サービス業者数★	93事業者	100事業者	A	A
③	秋田市の魅力を市外の人におすす め・発信している人の割合	24.8%	35.0%	C	C
	本市への移住者数	338人	400人	A	A
	観光客入込数 ※7年度実績は速報値。	6,821,030人	7,456,537人	C	C
	ホームスタジアムでの平均観客動員 数	NH3,822人 BB4,953人 NB 513人	NH4,000人 BB5,000人 NB2,000人	A	A
④	がんの75歳未満の年齢調整死亡率	70.0	69.8	A	A
	ボランティア活動を行っている65歳 以上の人数★	2,599人	2,748人	C	C
	秋田市シルバー人材センターの会員 数★	961人	1,000人	A	C
	都市公園のバリアフリー化率★	75.3%	77.5%	A	A
	認知症サポーター数	31,798人	36,000人	A	A
⑤	土地区画整理事業施行地区内の宅地 整備面積	306,970㎡	316,000㎡	A	A
	年間バス利用者数	6,035,501人	7,500,000人	C	C
	自主防災組織などによる防災訓練参 加者数	4,953人	7,431人	C	C

5 総括・今後の方向性

- (1) 第2期総合戦略では、子育て支援や雇用創出、ふるさと納税などの分野で一定の成果が見られ、KPIについては30指標のうち半数近い13指標の目標を達成した。一方で、基本目標の数値目標については、5つの目標のうち、達成できたのは1つのみであり、「合計特殊出生率」、「市外への転出超過の改善」、「本市に住み続けたい人の割合」など、本市が抱える人口減少・少子高齢化に直接関係する目標が未達成となっている。
- (2) こうした中、本市では、まち、ひと、しごと創生法に基づく地方版総合戦略として、総合計画から地方創生（人口減少）に関する事項を取り込む形で、平成27年度から「秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定してきたものの、総合計画と総合戦略で共通する部分が多いことから、第15次総合計画の推進計画と総合戦略を統合することとした。
- (3) 今後は、第15次総合計画における「プラスの循環戦略」の重点プログラムにおいて新たに設定した「県外からの移住者数」、「20歳から24歳の転出超過数」、「保育所・幼稚園等入所率」、「放課後児童クラブの待機児童数」などの関連するKPIとその目標値に基づき、進捗管理を継続して行う。

※なお、進捗管理については、毎年度、有識者による検証委員会において効果検証を行い、市議会に報告するほか、庁内の行政経営会議における事業の立案や見直しなどの根拠として活用する。